

議事（2）東京都障害者差別解消支援地域協議会（第3回）における 条例検討に係る意見概要

1. 会議概要

- 日時：平成29年7月18日（火） 19時から21時まで
- 場所：新宿住友ビル47階 スカイルーム Room5及び6
- 議事：（1）報告事項 障害者差別解消法施行に伴う区市町村の取組
 状況について 他
 （2）障害者への理解促進及び差別解消のための条例制定に係る
 検討部会での検討状況について
 （3）障害者差別解消法の普及啓発について

2. 議事（2）「障害者への理解促進及び差別解消のための条例制定に係る 検討部会での検討状況」に関する主な意見

①「都民及び事業者の理解促進」

論点①「都民等の責務の内容」について

＜主な意見＞

イ）障害者の責務規定を設けることについては、部会では反対意見が多く出ているとの認識があるが、書き方を見ると規定する方向性で結論が出ているように見える。なお、障害者の責務を設けることは改めて反対である。

＜結論を出しているものではなく、部会における意見を両論併記している＞

ロ）当事者としても、分かってもらえるように努力することも必要ではないか。

論点②「事業者の責務の内容」について

＜主な意見＞

イ）小規模事業者の実態を踏まえた規定とする必要がある。規模によって、リテラシー（情報を理解し、使いこなす能力）も異なる。

ロ）都内全事業者の7割以上が小規模事業者であり、一人経営も多い。そのような事業者は財力やハード面でも課題を抱えている。事業者の多様性を踏まえ、相互理解をどう進めていくことができるか、検討する必要がある。

ハ）小規模事業者の声を聴く必要がある。追加でヒアリングを行う必要があるのではないか。

②情報保障の推進について

ろんてん しょうほうほしょう すいしん 論点①「情報保障の推進」について

おも いけん ＜主な意見＞

イ) しょうほうほしょう しゅだん ぐたいてき きてい かつじ おんせいしか
情報保障の手段は具体的に規定されるのか。また、活字の音声化だけでなく、けんばいき おんせいしかどう きてい
券売機の音声化等も規定してほしい。

げんじてん みてい ひ つづ とう なか ほんぶかい
＜現時点では未定であり、引き続き（まとめ等の中で本部会において）
けんとう
検討する＞

ロ) じょうれい じょうぶん こま きてい りょう ぼうだい むすか
条例の条文に細かいことを規定すると、量が膨大になるなどして難しい面があるのではないか。

ハ) しょうほう だ りかい ひと しょうほう ないよう ていねい きょう
情報を出しただけでは理解できない人もいる。（情報の内容を）丁寧に教えていただくこともかんがえてほしい。

ろんてんきさい しょうがい ひと せつめい じゅうよう
＜論点記載している「障害のある人が分かるように説明することが重要」の
あたりは、そのようなご意見と関係があるものと考えている＞

そうだん ぶんそうかいけつ し く ③相談、紛争解決の仕組みについて

ろんてん そうだんだいせい 論点①「相談体制」について

おも いけん ＜主な意見＞

イ) ちてきしょうがい ひと じしん さべつ とう にん
知的障害のある人は、自身が差別されている等を認識できないこともあり、そうだん
相談につながらない。ちいき なにげ そうだん なか ふとう さべつてき
地域における何気ない相談の中で、「（「不当な差別的
とりあつか ころりてきはいりょ ふていきょう がいとう とう はっけん
取扱い」や、「合理的配慮の不提供」に該当するか等について）発見すること
も大事ではないか。その意味では、くしちょうそん たいせい じゅうよう なにげ
区市町村の体制が重要であり、（何気ない
そうだん なか さべつとう うたが じあん ないよう す あ ないよう おう
相談の中で差別等が疑われる事案はないか）内容を吸い上げ、（内容に
と みつ ひきつ とう おこな ひつよう
応じて）都と密な引継ぎ等を行う必要があるのではないか。

ろんてん ぶんそうかいけつ し く 論点②「紛争解決の仕組み」について

おも いけん ＜主な意見＞

イ) と くしちょうそん だいさんしゃきかん せっち じょうれいじょう くしちょう
都は区市町村に第三者機関を設置させていくために、条例上も「区市町
そん だいさんしゃきかん もう きてい い
村は第三者機関を設ける」といった規定を入れるべきではないか。また、く
しちょうそん だいさんしゃきかん もう ばあい ぶんそうかいけつ し く じょう そうだん
区市町村が第三者機関を設けない場合、紛争解決の仕組み上どこに相談をすれ
ばよいのか。

と くしちょうそん じつじょう おう せっち うなが かんが
＜都としても区市町村の実情に応じ設置を促していきたいと考えているが
と くしちょうそん たいとう きょうりょく かんけい どりつ ちほうこうきょうだんたい
（都と区市町村は対等、協力の関係にあり、それぞれ独立した地方公共団体
となるため）あくまで設置を促していくということになる。また、都は広域
じちたい
自治体として都の区域内における事案は原則対象としていくことになる＞
しりょう お
（資料2 終わり）